

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272301003		
法人名	社会福祉法人つがる三和会		
事業所名	グループホームおのえ		
所在地 (電話番号)	〒036-0221 青森県平川市中佐渡上石田36-1 (電話) 0172-43-5227		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 10月 15日	評価確定日	平成 20年 12月 16日

【情報提供票より】(平成 20年 9月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 12月 28日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 3人, 非常勤 12人, 常勤換算	8.4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	9,600 ~ 冬期12,600 円	
敷金	有() 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(9月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	6 名	要介護2	8 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 82 歳	最低	74 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	弘前小野病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

津軽平野の南端に位置する田園に囲まれたのどかな環境の中に立地しており、デイサービスと併設された広々とした敷地の中にモダンな建物がある。天気が良いと遠方には岩木山や八甲田山が見渡せる。入居者の居室からの眺めも良い。園内も広いが、庭も広く、入居者が散歩を楽しんだり屋外での作業に取り組んだりと恵まれた環境にある。各居室にはクローゼット、トイレ、エアコンが完備されている。又、特徴として施設内は完全なバリアフリーであり、カーペットが敷き詰められ、履物は履かないようになっている。お風呂はかけ流しの温泉であり、豊富な湯量がわいていつでも希望に応じて入浴できる体制があり、入居者の楽しみの一つとなっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価で話し合われた内容についてはその後、職員や家族にも報告し課題として取り組まれている。認知症の理解を地域に広げる為に、運営推進会議の機会に設けたり、地域住民と交流の中で設けたりしている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	自己評価に対する認識を深める為に職員一人一人がまず自己評価し、それに基づいて全員で話し合いながらまとめていくという体制で行っており、自己評価に対する積極的な取り組みがうかがえる。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
重点項目	民生委員、町内の代表、市役所の職員、家族、利用者が集まり、行政からの説明や施設からの近況報告などがあり、参加者からの質疑応答など活発で有意義な会議が定期的に行われている。又、施設での入居者の暮らしがよくなるようにDVDを見せたりして参加者の好評を得ており、参加者が意見を出しやすい環境を作って今後の施設の運営に役立っている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
重点項目	入居者の家族は最低でも月に一度は訪れており、その際に職員から働きかけて意見や要望など引き出すようにされている。苦情や不安についても用紙が用意され意見箱を設置しており、運営に反映されるような体制がある。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	町内の活動には積極的に参加されており、地域との関係を重視している様子が見られる。夏祭りなどの行事に参加することはもちろん、ごみ拾いや廃品回収などの作業にも参加されており、地域の一員としての活動も積極的である。近くには猿賀神社もあり交流の場所にもなっている。又、近くの住民が気軽に野菜を届けてくれるなど施設の開放感も感じられる。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホーム開設時に職員皆で考え、作り上げた理念をさらに地域密着型のグループホームとしての役割を認識し、グループホーム独自の理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	申し送り時やカンファレンスを通じて、理念を具現化するために話し合いが行われ、職員皆で共有されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	ゴミ拾いや廃品回収などで町内会活動に参加したり、グループホームでの夏祭りに近隣の方々を招くなどグループホーム側から地域へと積極的に働きかけられている。また、保育園や小学校との行事交流や地区の民生委員の方々のグループホームへの訪問などの活動を通じて相互交流が行われ、社会資源の一つとして地域にとけ込んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員に気づきを持ってもらうことを念頭に全員に自己評価を実施してもらい、その後皆で話し合いがもたれている。会議の場等を活用して評価することの意義等について周知されている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>民生委員、町会長、市役所職員、ご家族、本人を交え、会議が開催されている。活動内容もDVDやスライドショーなどで入居者の日々の暮らしがそのまま伝わるよう工夫され、好評を得ている。また、民生委員等の参加もあることから認知症についての理解を深めてもらうために簡単な勉強会が開かれることもある。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市役所を訪問し、入居相談についてや事業所のみでは解決できないような困難事例についても協議されており、市町村担当との連絡体制が整っている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護に関する勉強会を実施し、職員間で必要な知識を得る機会を確保すると共に制度利用が必要な方にはうまく支援できるようにしている。また、日頃よりグループホーム通信等を通じてご家族や地域の方々にも情報提供されている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員が虐待について学ぶ機会を持ったり、管理者含め、皆で会議等の場を活用して虐待に関する話し合いを持ったりと日々のケアを振り返りながら虐待が起こらない環境作りに努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前より、グループホームでの生活や高齢になること のリスク等健康面などを交えながらグループホーム で支援できることを説明し、本人・ご家族が不安になら ないような説明を心がけ、実施している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、 金銭管理、職員の異動等について、家族等に定 期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>入居者のご家族は月に1回以上、面会に訪れるため、 その機会を利用して入居者の暮らしぶりについて報告 している。また、お小遣いの出納に関してもそのときに 確認していただいている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員な らびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運 営に反映させている</p>	<p>面会時等を利用して職員側からご家族に話しかけ、意 見を引き出すよう努力されている。また、意見箱の設 置や書面でご家族の希望を書くシートを用意し、何で も意見が言えるよう働きかけている。</p>		<p>オンブズマンなどの第三者により、家族や利用者の 意見を聞いてもらうなどして、いっそうの意見の引き 出しを期待したい。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員 による支援を受けられるように、異動や離職を 必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、 利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>現在までになじみの職員との関わりを重視するという 点から異動というのはほとんどなく、あっても入居者へ の負担とならないよう一人ひとりに配慮がなされるよ うな職員教育が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内部での研修会が定期的開催され、出席し、内容を職員全員で共有するようにしている。また、外部研修に関しても職員が個別に出席できるよう情報提供されて研修の機会を作っている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会等を通じて知り合ったグループホームの職員とお互いに行き来し、グループホーム同士の交流を行っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に自宅を訪問し、本人とコミュニケーションを図っている。また、グループホームへ見学にきていただき、食事を共にするなどして本人が自らグループホームで生活をしたいと思えるような雰囲気作りを行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の生活の中で入居者が主体的に活動できるようにと畑作り、趣味の活動など個々の力を発揮できる場面を意図的に作りだしており、入居者と職員双方がお互いの足りない部分を補い合うような良好な関係をつくっている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
17	30	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>生活歴や入居者・ご家族の希望を記入するシート、日々の入居者との関わりから一人ひとりの意向を把握し、それが実際のケア場面に反映されている。</p>		<p>現段階において本人の思いを把握し、実際のケア場面に反映されていますが今後は生活歴だけでなく、今までの入居者との生活の中から得られた情報等を再度、書式化していくことを通して自らのケア実践を振り返り、ケアの質の向上につなげていくことを期待します。</p>
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員全員で入居者の状況等気づいた点について記入するシートを作成し、毎日のミーティングやカンファレンスでその都度検討されている。その上で入居者やご家族と話し合い、介護計画が作成されている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居者の現状に即したケアを実践するために心身の状況や生活面での変化があった場合には職員間で話し合う体制がとられており、その都度介護計画の見直しが行われている。また、定期的な計画の見直しも行われている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療連携体制を整え、入居者の医療面での安心が確保されている。また、デイサービスが併設されており、デイ利用者が在宅での生活が困難になった場合には通い慣れた場所への住み替えともなるため、入居時の住み替えにかかるダメージが少ない環境が整っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に今までの医療状況について把握し、本人の希望にそった医療が受けられるよう支援されている。また、ご家族で対応できない専門医の受診等に関しては職員が受診介助できるよう体制が生まれ、受診後の報告についても連絡を密に行っている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居者やご家族が安心してグループホームでの生活を送れるよう入居当初より話し合いがもたれている。重度化した場合の具体的な対応方法についても最初に了承をいただいており、本人やご家族の気持ちの変化に対応できるよう注意をはらい、支援につなげている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者が不快感をまねくような言葉かけや対応を行わないよう意識付けされており、対応がなされている。また、広報等は本人・ご家族の同意を得た上で作成し配布している。面会受付簿も入居者個人毎のケースを作成するなど個人情報にも注意されている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度の一日のリズムは決まっているが一人ひとりの生活状況に合わせて一日の予定が組み立てられており、入居者が思い思いに過ごしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>準備、後片付け共に入居者が自らの役割として自然に行われている。また、食事中も職員・入居者皆そろうて食卓を囲み、食事を話題に入居者の意欲を引き出すような言葉がけがされており、とても楽しい雰囲気となっている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴時間や入浴回数など特に制限を設けずに一人ひとりの希望を聞き、日々の体調を考慮したうえで安楽に入浴できるよう支援されている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>入居者の能力や生活歴の情報からそれぞれにあった畑作りや食事の支度、趣味など、入居者が主体的に動けるよう働きかけている。特に地域性から畑作りには力をいれており、入居者の役割や楽しみごとの大きな要因となっている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>昔から親しんだ近所の神社へ散歩に行ったり、買い物や美容院への外出など日々、入居者の希望に添った支援がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	介護保険法に規定されている項目を勉強会等を通じて話し合わせ、職員間での共通認識が図られている。また、申し送りや会議において日々のケアの中で身体拘束が行われていないか振り返りがなされている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	普段、鍵をかけておらず、中庭を含め、入居者が自由に出入りできるようになっている。また、外へ出られる方へもさりげなく見守りしながら危険のないよう対応されている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に災害に対する避難訓練等行われており、民生委員含め地域の方々との協力体制も整っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の栄養バランスのとれた献立を栄養士が作成し、提供されている。また、日々入居者の栄養・水分摂取量をチェックし、不足するようであれば本人の好みにあわせた代用品を取り入れるなどなるべく本人の意向にそった形で栄養状態が確保されるよう支援されている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防・対処方法に関するマニュアルを作成し、申し送りや会議等を通じて実行するよう徹底され、毎日、食器等や手すり等の消毒している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>中庭に面したホールは大きな一面のガラス張りとなっており、四季折々の風景が見渡せる。共用空間には昔ながらのなじみのある家具が置かれていたり、入居者がゆったりとくつろげる空間となっている。また、入居者への楽しみの一つとして金魚などが飼われ、話題の一つとなっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅から持ち寄られたものや趣味の作品など居室は入居者それぞれのカラーが出ており、自分の部屋として居心地よく過ごせるような環境となっている。</p>		

 は、重点項目。